

一般財団法人 岡山県国際交流協会

事業名	留学生等における地域住民・児童との交流会						
実施期間	平成26年6月～平成27年1月						
場 所	岡山国際交流センター、県内(岡山市を除く)小学校						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	児童	合計
	27	84		23	1	244	379 名

＜実施内容＞

①「留学生等による国際理解学習支援プログラム」

県境の小学校へ留学生を派遣し、留学生と児童が交流する「留学生等による国際理解学習支援プログラム」を年8回実施しました。普段、ALT以外の外国人と接することが少ない児童にとって、直接留学生と触れ合うことのできる機会は大変貴重なものです。このプログラムを通して、子どもたちが世界への関心を深め、外国語学習にさらに意欲的に取り組むことが期待されます。

②「留学生と県民との交流会」

第1回はスペイン編を開催し、1つの国についてより深い知識を学びました。第2回は特別編として開催しました。6カ国の留学生7名を招き、ワークショップや、留学生の出身地域や個性の活きた自国紹介で参加者と交流を深めました。



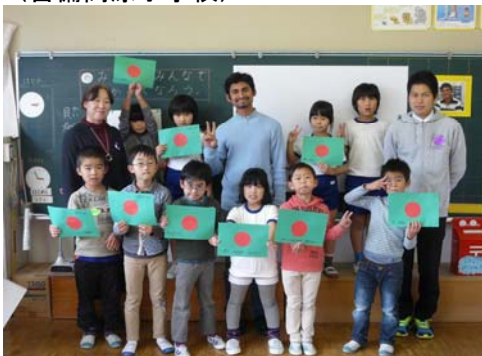
留学生等による国際理解学習支援プログラム(美作北小学)



留学生等による国際理解学習支援プログラム (吉備高原小学校)



留学生等による国際理解学習支援プログラム(国府小学)



留学生等による国際理解学習支援プログラム (新庄小学校)



留学生と県民との交流会 スペイン編



留学生と県民との交流会 スペイン編



留学生と県民との交流会 特別編



留学生と県民との交流会 特別編

①「留学生等による国際理解学習支援プログラム」

学校が企画した国際理解学習の授業案に沿って、留学生と子どもたちが国際交流を図ることにより、異なる文化や習慣を持つ人々の存在を認め、理解する力を養うためのプログラムです。

岡山ロータリークラブの協力のもと、県内の大学に在学する留学生を小学校へ講師として派遣しています。

留学生による出身国の紹介には、写真だけでなく、遊びや歌など工夫を凝らした内容が盛り込まれており、子どもたちも自然と話に引き込まれます。日本に根付いている海外の食文化や、海外で親しまれている日本の文化など、身近な話題を取り上げ、世界と日本との関係を考えるよいきっかけとなりました。

②「留学生と県民との交流会」

第1回は、スペイン編を開催しました。スペインオムレツから「トマトパン」といった家庭の味まで、Costa BravaやLa Cerdanya などといったオススメ観光スポットまで幅広く紹介してくれました。スペインのお菓子を食べながら和やかな雰囲気でした。スペインの魅力がたっぷり詰まったオリジナルのプレゼンは参加者をスペインの世界へと導いてくれ、参加者からの質問もたくさん飛び交いました。

第2回は特別編とし、6カ国7名の留学生と参加者が交流しました。参加者も幅広い年齢層、様々な国の出身の方で会は盛り上がりました。ワークショップ「世界のイベントカレンダーを作ろう！」では、留学生と参加者がグループに分かれて、自分の国のお祭りや年間の行事を紹介し合いました。国だけでなく地域の行事を知ることができ、地域の習慣、価値観などにも触れる機会になりました。後半は、自由な雰囲気でお懇親会を楽しみました。留学生が日本に来てカルチャーショックだったことを紹介する「カルチャーショックトーク」、留学生が自国を紹介するために考えた「世界を知ろうクイズ」では、留学生が司会進行をし、留学生の解説に、驚きの声や笑い声が上がり、会場は大いに湧きました。インド出身の留学生は女性の美容法、装飾、日常の中のヨガを紹介し、トルコ出身の留学生は有名な料理ではなく、トルコの人々の毎日の食事を紹介しました。留学生と参加者が相互にやりとりをする内容のプレゼンテーションは留学生と参加者を自然に結びつけました。

<参加者からのコメント>

「留学生等による国際理解学習支援プログラム」 美作北小学校 教諭 石戸 美穂さん(日本)
/Miho Ishito

子どもたちの興味のある食事・遊び・遊園地などのテーマで話をしてくださったので、子どもたちは自分たちの暮らしと関連付けて考えることができていると思います。また、映像や写真をたくさん用意してくださっていたので、とても分かりやすく、子どもたちの反応も良かったです。年に一度の交流会でしたが、事前指導、交流会ともに子どもたちが意欲的に取り組めて良かったです。

12月21日開催の「留学生と県民との交流会」に英語通訳ボランティアとして参加した。中韓の学生以外、アメリカ、カナダ、トルコ、インド、ベトナムなどの国の人々も来ていた。みんなはグループに分かれて各国の文化の行事について話していた。最初は世界のイベントカレンダーを作った。となりにいる中国人同士の学生と協力して中国の「中秋節」を紹介した。カルチャーショックトークとクイズの時間もあって、昼食を食べながら自由に交流し、意見交換して活発に過ごした。

アメリカ人男性と、今世界中流行っているアメリカドラマや映画について楽しく話した。彼は、国際結婚で日本人の女性と二人の子ともがいる。「国際結婚が流行っているのはもう普通だよ」と、ウクライナに留学経験のある日本人の女性といろいろと話した。海外生活は楽しくのんびりしているだけでなく、自分で努力して頑張るってよいものにしないといけないという話を聞いて実感した。日本人の海外生活の一面も覗けたと思う。

この活動はすごい意味があると思う。グローバル化しつつある現代社会において他国の文化を理解することは非常に大切だ。普段外国に興味をお持ちの方がたくさんいると思うので、私は中国人の留日学生として、日本だけでなくいろいろな文化圏に属する人に接触したいと思っておる。このような交流会はそういうチャンスを作ってくださってありがたい。もちろんグローバル化社会で自分を失ってはいけないと思う。自国の文化が知らなかったら国際的な文化交流もできないだろう。そういえばトルコから来た学生たちは一番日本語上手だなと思った。